

## テメキュラに行って…

大山中学校 3年 清水九十九

僕は、テメキュラ研修でいろいろな体験をしました。その中で一番印象に残っている事は、ホストファミリーの家でのホームステイ体験です。

僕は、小学校6年生の時にも、大山町と沖縄県嘉手納町との交流事業で、沖縄の人の家に泊めさせてもらったので、ホームステイ体験はありました。しかし、今回はアメリカなので、出発する前から一人でホストファミリーの家に泊まって、自分の英語が通じるかどうか、逆にホストファミリーの英語がわかるかどうか、少し不安でした。

出発の1ヶ月くらい前に、テメキュラのホストファミリーから、父のパソコンにメールが届き、家族の紹介や英語が全く話せなくても心配しなくて良いので、逢える日を楽しみにしているというような事が書いてありました。何回かメールで写真を送るなどしていくうちに、ホストファミリーの人達がとても近くに感じて、だんだんと早くテメキュラに行きたいと思うようになりました。

ホームステイ先でホストファミリーに折り鶴をプレゼントしたり、一緒に折ったりすると、とても喜ばれました。また、抹茶も土産用に持って行った道具でたて、和菓子と一緒に出すと、とても喜んでくれました。

▶家族の一員として接してくれたホストファミリー



テメキュラ研修では、ホストファミリーの方々にととてもお世話になりました。

彼らは、僕を日本からのお客さんとしてではなく、家族の一員として接してくれました。僕を含め家族揃って皆で食事をしたり、朝が弱い僕を毎日起こしにきてくれたり、夜寝る前にはホストマザーが家族にするのと同じように僕にハグをしてくれた事などがとてもうれしかったです。最後のお別れの時には、別れを惜しんで泣いてくれました。そして、ホストマザーが僕に手紙をくれました。そこには、「私達はあなたのアメリカのお父さんとお母さんなのでいつでも帰ってきなさい。」というような事が書いてありました。いつの日か逢に行きたいです。

僕はアメリカ研修で、いろいろな事を見ていろいろな事を経験しました。今はまだわからないけれど、この研修で学んだ事は、僕の人生できっと役に立つと思います。

高さです。アメリカ人はとても美意識が高く、例えばごみ箱のデザインも地味だと市民から文句を言われるそうです。日本人はごみ箱なんて「捨てる事ができればデザインなんか気にしない。」と思っている人が多いと思うので驚きました。

3つ目は、家の中のことです。私はアメリカの家は靴を履いたまま上がるので、一日中ずっと履

きっぱなしだと思っていました。しかし、家には子どもたちの靴が脱ぎ捨ててあることが多く、みんなはだしで歩き回っていました。

アメリカでは、知らない人から話しかけられることが多いです。最初は必ずと言ってよいほど、“How are you?” から始まります。そして、答え方もほとんどの人が“Good How are you?”と言い、“Good Thank you”で終わります。アメリカへ来て3日目に、店員さんとスムーズにこの挨拶を交わすことができたときは、とても嬉しかったです。

この研修は私を大きく変え、視野を広げてくれたので参加して良かったと心から思います。来年も再来年も、たくさんの方がこの研修に参加し、テメキュラ市との交流が続いていくことを願っています。

▶楽しかったファミリーファン

